



あさひ

7月号

令和4年6月30日
横浜市立旭小学校

「思いをもつ力」

「やり抜く力」

「関わる力」

【WEB】 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/>

【Instagram】 asahi_e.s._yokohama

RESTART
“121st SCHOOL YEAR”

SMILE FRIENDS

～ペア遠足から得たもの～

副校長 岩元カオリ

6月後半3日間に渡って全校の子どもたちがペア遠足に出かけました。「スマイルフレンズ」、略してスマフレ活動の一環として、計画を立て、自分たちの力を発揮し、異学年と関わる力を育ててほしいと願っての行事です。16日に2年生・4年生、21日に1年生・6年生、29日に3年生と5年生がそれぞれ三ツ池公園に行ってきました。道中安全指導に保護者ボランティアの方々にご協力いただき、ありがとうございました。私は21日の1年生・6年生の遠足を引率しました。

6年生の子どもたちは各班のリーダーです。最高学年として優しく1年生に接し、メンバーが安全に楽しく過ごせるよう朝から緊張気味でした。行きの道のりには急な下り階段や長い上り坂があります。何度もこの道を通ったことのある6年生は「ゆっくりでいいよ。」「気を付けてね。」と1年生が足をふみはずすことがないようによく気を配っていました。公園では班ごとにポイントラリーに取り組み、ポイントごとに出される問題にこたえながら新緑に包まれた池のほとりを巡りました。

楽しそうに過ごす子どもたちの様子を「花の広場」で見守っていたところ、あることに気が付きました。いつの間にか、多くの班で6年生が6年生どうし、1年生は1年生どうしでかたまって遊んでいるのです。思えば「班」といっても、発足から1か月余り、メンバーとして顔を合わせたのは数回、自己紹介をしたり、ゲームをしたりして少しずつ関わりを深めてきました。でもまだ知り合い以上、友達未満、学校での「きょうだい」としての接し方を探り、考え、新たに形作っているところなのでしょう。さて、これからどうするのか、どのように班の仲間たちと関わりやつながりを築いていくのでしょうか。「一緒に遊んでね。」と大人が声をかけることもできますが、遊ぶ時間も場所もたっぷりあります。

多くの班がそれぞれに交錯しながら数分たった頃、動きがありました。

『「ふやし鬼」しよう。』『来て、来て。』

呼びかけた6年生がいました。その声をきいて多くの1年生、6年生が集まってきました。

『「ふやし鬼」ってなに?』『「ふえ鬼」だよ。』

6年生が本気で走ったら1年生はすぐにつかまってしまうのでは、と思いましたがなかなかどうして、すばしっこい1年生に6年生も手を焼きます。暑い日だったので、めいっぱい汗をかきながら、途中水を飲み、それでも思いっきり走り回ります。終わる頃にはへとへとになっていましたがどの子どももさっぱりしたいい笑顔になっていました。気が付くと広場のそこそこで1年生も6年生も一緒に「だるまさんが転んだ」をしたり、「つかれた～」とベンチで休憩したりしているのです。

この日に向かって安全に楽しい遠足にしようとして準備してきた上級生。上級生を信頼し、その励ましを頼りに帰りの道を元気に歩ききった下級生。2年生と4年生、3年生と5年生にもそれぞれのドラマがあったのではないのでしょうか。「どうやって仲良くなったらいいのかな。」そんな思いをもち、関わり、いろいろ試して、できることをやってみて、うまくいなくても別の方法にチャレンジして。

次の「スマフレ」は7月5日です。今までとは一味違う「仲間」になった姿があることでしょう。